

ちきゅうけん

主催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合地球環境学研究所
協力 フィールドソサイエティ

入場無料
要申込 先着60名

感性と 共感の 環境学



「ゼツメツキグシュノオト」を
聴きませんか



「ゼツメツキグシュノオト」
演奏

ピアノ 内藤 晃

「サウンドスティーブ」
自然へのいざなひ

案内 フィールドソサイエティ

2018年

日時 6月23日(土)

17:30 (開場 17:00)

場所 法然院

〒606-8422 京都市左京区鹿ヶ谷御所ノ段町

対談

春畑 セロリ × 阿部 健一
作曲家 総合地球環境学研究所 教授



ゼツメツ
キグシュ
ノオト



プログラム

開場 17:00 開演 17:30

17:30 「ゼツメツキグシュノオト」

ピアノ演奏 内藤 晃

18:00 「サウンドスケープ」

自然へのいざない

案内 フィールドソサイエティー

18:20 対談

春畑セロリ × 阿部 健一（総合地球環境学研究所）

19:20 再び「ゼツメツキグシュノオト」

ピアノ演奏 内藤 晃

環境問題を論理的に理解することは大切です。でもそれだけで環境問題は解決しません。忘れてはならないのは感性。自然を感じることも同じく大切です。

沖縄在住のイラストレーター茂木淳子さんが、生きものへの思いを絵と詩にされました。

それを手にした春畑セロリさんが、ピアノ曲集を書きました。それが「ゼツメツキグシュノオト」。

今回東山の山麓に佇む法然院をお借りして、この「ゼツメツキグシュノオト」を内藤晃さんに弾いていただきます。

ピアノに続いて、法然院森のセンターで活動が続いているフィールドソサイエティーの案内で、お寺に響いてくる森の音を聴いてみましょう。生き物たちも紹介します。

そのあと、作曲家と研究者が「絶滅危惧種」について語ります。隠れたテーマは論理と感性。「共感の環境学」。

そして最後にもういちど「ゼツメツキグシュノオト」。

初夏の一夜、生きものと人との関係について考え、「ゼツメツキグシュ」に思いをはせてみませんか。



ピアノ演奏：内藤 晃（ないとう・あきら）

ピアニスト・指揮者・作編曲家。東京外国語大学卒業。弾き振りを含む多彩な演奏活動のほか、「もっと深い音楽体験」を共有すべく、ユニークな発想でレクチャーや執筆を行う。主宰ユニット「おんがくしつトリオ」では、教育楽器によるエキサイティングなアレンジが話題となり、全国的に公演を行う。著作、校訂楽譜、録音作品多数。



案内：フィールドソサイエティー

環境学習活動を行う市民グループ。1985年開始の「法然院森の教室」を母体に、1993年「法然院森のセンター」の開館と同時に発足した。「森の子クラブ」ほか様々な自然体験活動に取り組んでいる。



作曲家：春畑 セロリ（はるはた・せろり）

作曲家。東京藝術大学卒。ピアノ曲集、合唱曲、音楽教材、音楽書を数多く出版。鎌倉生まれ、横浜育ち。さすらいのお気楽者。

最近、興味の対象をマジメに集約してみると4Kになった。「国際協力」「科学」「教育」「環境」。2018年3月出版の「ゼツメツキグシュノオト」は、その交差点上にあるらしい。



研究者：阿部 健一（あべ・けんいち）

昆虫少年がそのまま大人になり、生物の研究をしたくて熱帯林へ。東南アジアで、熱帯林がどんどん伐採されているのを知り、人と森林、人と自然の関係について、考えるようになりました。総合地球環境学研究所・教授。



お申込み

聴講希望の方は、お名前、連絡先を記入のうえ、メール・電話・FAXにて右記までお申込みください。

総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター
コミュニケーション部門（担当・水谷）

TEL. 075-707-2502

FAX. 075-707-2510

E-mail. mizutani@chikyu.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所
Research Institute for Humanity and Nature

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
http://www.chikyu.ac.jp

- ※ 参加される方は事前にお申し込みください。申し訳ありませんが、席に限りがあります。
- ※ 普通の演奏会ではありません。託児所の準備はできませんが、小さなお子様をつれての参加も歓迎します。
- ※ 映像として記録・発信する予定です。あらかじめご了承ください。